

12
26
FRI

ワークショップ

アジアの 森林保護制度 による 人々の暮らしへの 影響と対応

2008.12.26(FRI)
→27(SAT)

会場 地球研 / 講演室

URL: www.chikyu.ac.jp/rihn/access/index.html

申込不要・参加費無料

問い合わせ先

総合地球環境学研究所 (市川・内藤)

Tel: (075)707-2216

E-mail: dnaito@chikyu.ac.jp

URL: www.chikyu.ac.jp

I. 9:00-9:20 趣旨説明: 市川昌広・内藤大輔

II. 国際的な森林保護制度と森に暮らす人々
(司会: 葉山アツコ)

9:20-10:00 湯本貴和 (地球研)
「地元の世界自然遺産をもつということ:
屋久島を事例にして」

10:00-10:40 小泉都 (地球研)・服部志帆 (京大)
「生物多様性の保全制度を狩猟採集民の
生活・文化の尊重につなげていくために」

10:40-11:20 内藤大輔 (日本学術振興会 / 地球研)
「マレーシアにおける森林認証制度
による地域住民への影響」

11:20-12:00 原田一宏 (兵庫県立大)
「インドネシアにおける森林認証制度一
地域住民による森林管理への適応の
現状と課題」

12:00-12:30 セッション討論

12:30-14:00 休憩

III. 国による森林保護制度と森に暮らす人々
(司会: 市川昌広)

14:00-14:40 東智美 (メコン・ウォッチ / 一橋大)
「ラオス北部における土地森林委譲事業
による焼畑民の暮らしへの影響」

14:40-15:20 東城文柄 (地球研)
「バングラデッシュの住民運動が示した
コミュニティ参加型森林保護の問題点」

15:20-16:00 増田和也 (京大)
「政府が植える木々、地域が守る森:
インドネシアにおける産業造林と地域社会」

16:00-17:00 セッション討論・全体討論

12
27
SAT

IV. 参加型森林保護制度と森に暮らす人々
(司会: 東城文柄)

9:00-9:40 葉山アツコ (久留米大)
「生活論理と環境倫理をつなぐことは
できるのか: フィリピン森林政策から
考える」

9:40-10:20 生方史数 (京大)
「二元論を超えて: タイの林業・森林保全
の現場から考える」

10:20-11:00 島上宗子 (京大)
「インドネシアにおけるコミュニティ・
フォレスト政策の展開と媒介者の役割」

11:00-11:40 阿部健一 (地球研)
「グローバル時代の森林: 政策・
森林認証制度・つながり」

V. 11:40-12:40 総合討論
コメント: 生方史数 (京大)

環境省地球環境総合推進費「炭素貯留と生物多様性保護の経済効果を取り込んだ熱帯生産林の持続的管理に関する研究」(代表: 北山兼弘)
総合地球環境学研究所プロジェクト「人間活動下の生態系ネットワークの崩壊と再生」(プロジェクトリーダー: 山本則男)
科学研究補助金基盤研究B「熱帯里山ガバナンスをめぐるステークホルダー間における利害関係とその背景」(代表: 市川昌広)

本ワークショップは上記プロジェクトの一環で開催致します